

第2回京丹後市庁舎整備検討委員会（9/25）における主な意見とその対応

資料8

No.	主な意見	評価項目等への反映
1	<ul style="list-style-type: none"> ・災害を大きくとらえて危機管理の面における検討が必要。 ・安全面、衛生面における評価は、4番（行政の効率的な運営）に入ってくるかもしれない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・評価項目を細分化して整理し、考察を行いました。 ・建物の配置や建築物としての安全面・衛生面については、2つの案における差はないと判断し、評価項目として追加していません
2	<ul style="list-style-type: none"> ・2つの案は6つの評価項目の評価で十分か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大分類については、第2回委員会で示した6評価項目とし、それに中項目、小項目を設け整理し、考察を行いました。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・丹後庁舎も評価軸に入れたらどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・増築棟案と再配置案の2つの評価であり、両案は丹後庁舎の扱いに差がないため、評価項目に追加していません。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・浸水だけを見たらどちらの案も同じである。 ・両計画とも浸水する場所であり、両案とも不適切ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・浸水については、浸水深に差があればそのリスクには差があるものと判断し、場所と建物、またその建物が有する機能を評価項目として追加し、考察を行いました。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場の比較も必要ではないか。市民、職員ともに。 	<ul style="list-style-type: none"> ・来庁者用駐車場と職員用駐車場を評価項目として追加し、評価を行いました。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・将来にわたる整備費、負担が分かると比較しやすい。（時間軸で発生する費用、将来人口） 	<ul style="list-style-type: none"> ・「資料3 庁舎整備に係る将来負担の考察」、「資料4 推計人口と職員数」により考察を加えました。 ・評価項目の「⑥整備費」について、「本庁機能集約化に係る整備費」と「将来的な整備費」として整理し、考察を行いました。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインの普及でどう変わるか 	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン会議等は今後ますます普及するものと考えるが、両案においてそのことによる差はないと判断し、評価項目に追加していません。
8	<ul style="list-style-type: none"> ・地域経済に与える影響はあるのか（特に職員の昼食）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・評価項目「④行政の効率的な運営」に、「地域経済に与える影響」を追加し、考察を行いました。

9	<ul style="list-style-type: none"> ・市民にとって一番利便性がよく、使いやすい組織体制にしてもらったらよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・評価項目「②市民の利便性」をより細分化して整理し、考察を行いました。
10	<ul style="list-style-type: none"> ・市民にとってのメリット、デメリットは。 ・職員にとってのメリット、デメリットは。 	<ul style="list-style-type: none"> ・評価項目「②市民の利便性」「③交通アクセス」について、より細分化して整理し、考察を行いました。
11	<ul style="list-style-type: none"> ・浸水深については、両方ともデメリットに入れるべき。 ・浸水深の違いをどう捉えるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・浸水については、浸水深に差があればそのリスクには差があるものと判断し、場所と建物、またその建物が有する機能を評価項目として追加し、考察を行いました。
12	<ul style="list-style-type: none"> ・峰山総合福祉センターの老朽化により、その建替も想定されるが、増築棟があれば庁舎等を建築しなくてすむのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> ・評価項目「⑥将来的な整備費」や「各計画のメリット・デメリット」、「資料3 庁舎整備に係る将来負担の考察」により整理しました。
13	<ul style="list-style-type: none"> ・市の人口は2040年には6割ぐらいになる。それも勘案の上で評価項目を整理しているのか。 ・庁舎は20年後、30年後を見越して建てられている計画なのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「資料4 推計人口と職員数」で職員数の考え方を整理しました。
14	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会も一緒にいる方が効率的ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての本庁機能が一カ所に集約されるほうが効率的であるが、大宮庁舎の有効活用、資金計画等総合的な観点から両案が計画されています。
15	<ul style="list-style-type: none"> ・集約すると空き庁舎ができるので、福祉事務所と福祉関係団体を一つの場所に入れてほしい ・大宮庁舎は教育委員会だけでは空きスペースができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・他庁舎（特に峰山総合福祉センター）の老朽化や庁舎内の空室状況により、どのような利用・活用がふさわしいか検討されるものと考えます。
16	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化社会の中で、行きたくても新しい庁舎に行けないというのが出てくる。市民局をあわせて充実させていくことが必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民局機能は重要なものであり、市民局が所在する各庁舎は残すものとして両案は計画されています。